

全国登録委員会 議事録 (第 69 回大腸癌研究会)

日時: 2008 年 7 月 3 日(木曜)11:00~12:00 (第 69 回大腸癌研究会)

場所: パンパシフィック横浜ベイホテル B2F りんどう

出席者 【委員】 小山靖夫、小平 進、加藤知行、固武健二郎 【ワーキンググループ】 斉田芳久、浅野道雄、中村 寧、松井孝至 (順不同、敬称略)

【まとめ】

- A) 1999 年症例の新規登録について: 当初の締め切り日(2007 年 12 月)を延長して登録を呼びかけたが 2008 年 6 月 25 日現在の登録は 52 施設/3698 例に留まっている. 登録を予定している 61 施設の登録を待ち、本年度中の報告書刊行を目指して作業を進める.
- B) 登録情報の利用申請: 平成 20 年 1 月以降に新規申請なし.
- C) ワーキンググループからの報告: 本研究会の会員施設に対して実施された「診療科データベース」に関するアンケート調査の集計結果が報告された (浅野道雄先生). 作成中の診療科データベース・ソフトが紹介された (中村 寧先生).

1) 前回委員会の議事録が承認された.

2) 1999 年症例の新規登録に関して

当初予定した締め切り日(2007 年 12 月)を延長して登録を呼びかけたが 2008 年 4 月時点の登録施設は 42 施設に留まった. そこで 1995-1998 年症例の登録実績がある 131 施設に登録の意思を確認したところ、69 施設から登録の意思表示を得た. 2008 年 6 月 25 日現在、このうち 8 施設とその他 2 施設を併せた 52 施設(3698 症例)が登録したが、登録数は前年度の約半数であり、経年的な比較に問題が生じると考えられる. 登録の意思を表明している 61 施設の登録を待ち集計を行うこととした.

3) 登録情報の利用申請: 平成 20 年 1 月以降新規申請なし.

4) 2000 年度以降の登録に関する意見

a) 次回は治療後 5 年以上経過している 2002 年までの症例を一括登録してはどうか.

b) 登録が低率に留まる理由を調査して、登録施設の再定義を検討してはどうか.

次回研究会までに事務局で検討し、本委員会に諮ることとした.

5) ワーキンググループから以下の報告がなされた.

a) 会員施設に対して診療科データベースに関するアンケート調査が実施され、集計結果が報告された (浅野道郎先生). 調査結果は論文や学会等で公表する予定である.

b) 作成中の診療科データベースの入力支援ソフト(FileMaker Pro)のデモが行われた (中村 寧先生)

アンケート調査を踏まえ、ソフトを可及的早急に作成し、配布することが確認された.